

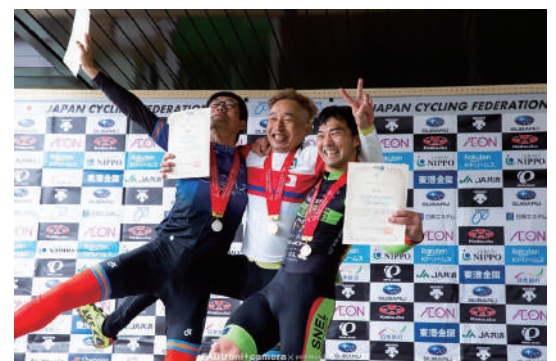
# SNEL CYCLOCROSS TEAM #09 NEWS



PHOTO by Kensaku SAKAI (FABtroni+camera)

## ----- 第25回シクロクロス全日本選手権 結果 -----

2019年12月11-12日、愛媛県内子町にて第25回シクロクロス選手権が開催されました。SNEL CYCLOCROSS TEAMは男子アンダー23に出場した、積田連選手が3位表彰台。マスターズ50-59では浅井選手が3位に入賞。見事表彰台を獲得しました。河川敷と公道を閉鎖したコースや、前夜祭の企画など地元関係者の熱意を感じられる大会で好成績を出すことができました。各選手のレース結果は次ページ掲載。







## シクロクロス全日本選手権 Cyclocross Japan National Championships

### Masters 50-59



#### 浅井秀樹 3位

愛媛県で行われた全日本選手権大会。片道東京から830km。車ではるばる四国へ。河川敷ということでフラットで単調なコースと思われましたが、テクニカルな路面やキャンパーもあり難易度もそこそこ。なにより公道も使つての素晴らしいコースで行われました。愛媛は寒いと聞いていましたが、曇り空ではあったものの気温は暖かく身体が動くのはとても良い条件です。一日目はマスターズクラスの開催のため浅井選手は金曜日入り。スタートから長い舗装路区間を浅井選手はいつもどおり好スタートを切ります。単独で飛び出す算選手を追い2番手パックを3人で形成。マスターズ50代は30分のレースでしたが終盤まで表彰台争いのかかった気の抜けない展開ですすみます。終始トップを走っていた算選手が優勝を確実にするなか、最終周回まで三つ巴の争いの先頭にいた浅井選手でしたが、最後の大きなキャンパー区間で、混走していた女子マスターズの選手をよききれず、後ろにいた藤井選手に交わされ後退。ほぼ終盤だったので巻き返しはできませんでしたが3位はキープしフィニッシュ。表彰台を獲得しました。

### U23 Men



#### 積田連 3位 / 小島大輝 11位

2日目は晴れ間も見えて昨日よりさらに暖かい気候になりました。アンダー23とはいえ、普段はエリートクラスでもトップ争いをしているレベルの高い年代。最前列に並んだ積田選手はスタートして3番手から2番手へ。すでに先頭の織田選手は単独でハイペースで行ってしまったため2番手をキープしますが、2周回を過ぎたあたりでもう一人の優勝候補の村上選手にパスされ3番手に。しかし慌てずレースを進めます。この時点で前の各選手はパックになることなく単独での追走。とはいえ落ち着くことはなく全選手がぎりぎりいっぱい走っているのがうかがえます。小島選手は全日本選手権では初のアンダークラス。今シーズンは生活環境も変わり、コンディション作りに苦戦。ここまで昨年までのような走りが出てはいませんが、今ある力で追走します。中盤までは3人ほどのパックで追走していましたが、途中から脱落。先頭のペースもあがっていたため惜しくも足りずに終了しました。積田選手は途中バンクに見舞われましたが運よくピット近くだったため、すぐにバイク交換をすることができ、その周回は4位の選手に15秒まで縮められましたが、その後はまた引き離し3位をキープしたままフィニッシュ。見事表彰台に立ちました。



### Elite Men



#### 向山浩司 19位 / 佐川祐太 28位

ここまでのレースで課題としていた、スタートで埋もれないことに集中し、3列目向山選手は好スタートでレースを開始しました。4列目にいた佐川選手は若干遅れたようにみえましたが舗装路を通過。キャンパーを降りたところで向山選手が落車に巻き込まれるも素早い復帰。それ以外は二人とも大きなトラブルもなく周回へ。試走の段階で何度も確かめた激坂キャンパーをレースでは軽々とクリアしていくエリート選手。先頭パックはいきなりハイペースで、MCがロードレースのようだと表現するほど。周回を重ねるごとにトラブルなどで一人ずつ脱落していくサバイバルレースに。もちろん後方もポジション争いが行われていて、抜きつ抜かれつ、ただ自分のペースを落とさないように、1時間を走り抜けます。こういった展開は向山選手も佐川選手もロードレース経験者なため粘ることができます。トップ争いにからむような位置では走れませんが、最低目標としていた完走をすることができました。ただ選手もチームも満足いく結果ではないことは確か。次につなげる経験になるよう努めます。





## ベルギー遠征 Belgian race report

## 選手活動報告 Rider report

年末から年始にかけて、積田選手がベルギーのレースへ参戦していました。  
 今年はU23の強化指定選手に選定されていたため、日本代表のジャージを着てワールドカップにも参戦することができました。  
 一昨年の世界選手権以来のヨーロッパ海外レースのレベルの高さに圧倒されながらも、果敢に挑戦してきました。



### :::積田選手のベルギー遠征全レース結果:::

◆2019年12月22日  
 Balegem BLレース  
 カテゴリー Men U23/Elite混走  
 コンディション 雨/スーパーマッド  
 リザルト 不明(-1lap)

◆2019年12月30日  
 Ethias Cross Bredene (UCI-C2)  
 カテゴリー Men Elite  
 コンディション 晴れ/マッド  
 リザルト 49位(-5laps)



◆2019年12月26日  
 Worldcup Heusden Zolder  
 カテゴリー Men U23  
 コンディション 曇り/セミマッド  
 リザルト 52位(-2laps)

◆2020年1月1日  
 dvv trofee baal GP sven nys (UCI-C1)  
 カテゴリー Men U23  
 コンディション 曇り/マッド  
 リザルト 50位(-2laps)

◆2020年1月4日  
 Gullegem (UCI-C2)  
 カテゴリー Men Elite  
 コンディション 曇り/マッド  
 リザルト 29位(-5laps)

## トレーニー紹介 Team Trainee



▲小久保登志貴選手



▲小林慶次選手

SNEL CYCLOCROSS TEAMは現在、シーズン途中から2名の男子エリート選手がトレーニー(テスト生)として参加しています。  
 小久保選手は自転車競技の経験が全くなかったにも関わらず持ち前のフィジカルでトップカテゴリーへ昇格して3シーズン目。  
 先日の湘南シクロクロス第3戦では表彰台にも上りました。  
 一方、小林慶次選手はトライアスロン界では優秀な成績を収めてきた選手で、今シーズンからシクロクロスに挑戦。  
 カテゴリー3,2を独走してわずか2戦でトップカテゴリーへ昇格。まだまだ不足している部分はありますが伸びしろは十分にありそうです。この若手ふたりにもご注目ください。





### サプライヤー SUPPLIER

サプライヤー様からの各アイテムは  
現場ではこのように使用しています。  
レース会場や、普段のメンテナンス  
などには欠かせません。



COMPRE SPORT  
PRO-GRABBER COMPRESSION TECHNOLOGY



おたふく手袋



NESK-ART



MORGAN BLUE



ATHLETUNE



ErgoGrip



TOPEAK  
PREPARE TO RIDE



NAOI



CANNIBAL